

株式会社 扇土建

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年6月～2024年5月)



発行日:2024年8月20日

改訂日:2024年11月5日

目次

代表取締役ごあいさつ及び環境経営方針	3ページ
1. 組織の概要	4ページ
2. 認証・登録の対象範囲	4ページ
3. エコアクション21環境管理システム実施体制図 及び役割・責任・権限表	5ページ
4. 主な環境負荷の実績	6ページ
5. 環境経営目標及びその実績	6、7ページ
6. 環境経営の取り組み計画と評価、 次年度の取り組み内容	8ページ
7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果	9ページ
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示記録	9ページ

ごあいさつ

株式会社扇土建は、土木工事業を主な活動範囲とする企業です。設立以来、多くのお客様から信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営んでおります。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

当社は、土木工事業を主とする事業活動において、下記の取組みにより、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。併せて、環境経営システムの継続的改善を図ってゆきます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する(電気、ガソリン、軽油)
3. 一般廃棄物の発生抑制・削減を推進する
4. 産業廃棄物の削減、再生利用及び適正処理を推進する
5. 水使用量の削減に努める
6. 環境に配慮した工事を推進する
7. 従業員に対する研修等を通じて、環境経営方針や環境活動について周知徹底する

制定日:2012年 6月 1日

改訂日:2019年6月30日

株式会社扇土建

代表取締役 赤石博之

1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 扇土建 代表取締役 赤石 博之
- (2) 所在地
本社: 〒679-2141 兵庫県姫路市香寺町岩部367番地1
資材置場: 本社と同じ
- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先
責任者兼担当者 : 総務 中塚 由美
連絡先 TEL: 079-265-1010 email: soumu@ougidoken.co.jp
FAX: 079-265-1020
- (4) 事業内容
土木工事業、法面工事、とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業
産業廃棄物収集運搬業
- (5) 事業の規模
会社設立日 : 昭和57年10月2日
資本金 : 3,000万円
売上 : 1,011,859千円 (2023年度実績)

従業員 : 14人
事務所床面積 : 201㎡
資材置場床面積 : 1153㎡

保有する建設機械 :

建設機械の区分	アタッチメントの種類	メーカー名	型式	所有・リースの別
ショベル系掘削機	バックホウ	ヤンマー	Vi027-5B	リース
ショベル系掘削機	バックホウ	ヤンマー	SV08-1A	所有
ショベル系掘削機	バックホウ	ヤンマー	Vio30-6	所有
産業廃棄物収集運搬車	ダンプ		ユニック・軽バス(7台)	所有

※積替え保管施設はありません。

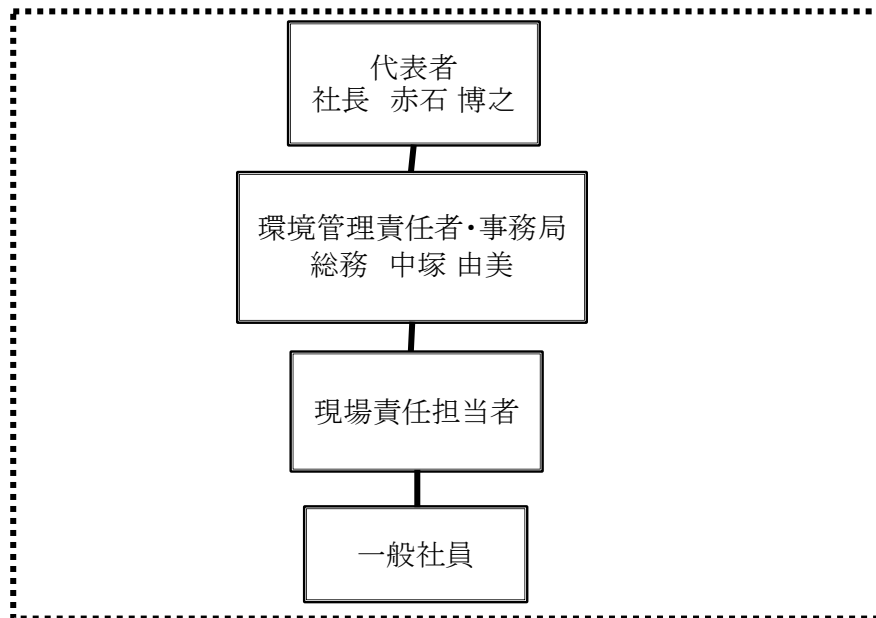
- (6) 事業年度
6月1日～翌年5月31日
- (7) 事業許可の内容及び許可番号

許可者	事業の区分	許可番号	事業範囲	許可取得年月日	許可有効期限
兵庫県	特定建設業	455316	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業	R4.7.30	R9.7.29
兵庫県	一般建設業	455316	建築工事業	R4.7.30	R9.7.29
兵庫県	産業廃棄物収集運搬業	02802027 265	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を含む)	R3.5.25	R8.5.24

2. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社扇土建
対象事業所: 本社・資材置場
対象外: なし
活動: 土木工事業、法面工事、とび・土工工事業、舗装工事業
解体工事業

3. エコアクション21環境管理システム実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認 ・経営の課題とチャンスの整理、明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付) ・環境活動に関する教育訓練の計画、実行、記録 ・緊急事態への対応訓練(テスト)の計画、実行 ・問題点の発見、是正処置、予防処置の立案と実行管理
現場責任担当者	・現場の環境管理(ガソリン・軽油・騒音・ごみの分別の対応) ・現場での従業員教育・訓練(ごみの分別・緊急対応訓練・事故への対応等) ・現場での苦情・要望への対応 ・環境管理責任者への報告
一般社員	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 基準年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	121,338	103,207	168,978	177,307	137,999	136,422
電力	kWh	35,823	37,075	37,272	36,244	38,393	37,386
ガソリン	L	8,388.9	7,715.0	10,424	11,378	10,836	11,831
軽油	L	32,671.8	28,265.0	51,297	53,800	38,773	37,399
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	84.1	82.3	80.4	80.4	77.7	76.7
産業廃棄物	t	49	26.8	24.8	16.9	11.3	21.8
総排水量	m ³	222	225.5	221.5	273.5	273.0	237.5

※化学物資は使用していません。

※電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2018年度関西電力調整後排出係数0.334kg-CO₂/kWhを使用。

5. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

年 度		2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
項 目							
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	137,999	136,619	135,239	133,859	132,479	131,099
			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
電力使用量削減	kWh	38,393	38,009.1	37,625.1	37,241.2	36,857.3	36,473.4
	kg-CO ₂	12,823	12,695	12,567	12,439	12,310	12,182
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
ガソリン 使用量削減	L	10,836.0	10,727.6	10,619.3	10,510.9	10,402.6	10,294.2
	kg-CO ₂	25,140	24,888	24,637	24,385	24,134	23,883
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
軽油 使用量削減	L	38,773.0	38,385.3	37,997.5	37,609.8	37,222.1	36,834.4
	kg-CO ₂	100,034	99,034	98,034	97,033	96,033	95,033
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
II. 廃棄物排出量 一般廃棄物 排出量の削減	kg	77.7	76.9	76.1	75.4	74.6	73.8
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
産業廃棄物 排出量の削減	t	11.3	11.2	11.1	11.0	10.8	10.7
	(参考値)		△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
III. 建設リサイクル率 の向上	%	41.6	42.0	42.4	42.8	43.3	43.7
	(参考値)	(2022年度)	1%	2%	3%	4%	5%
IV. 水使用量の削減	m ³	273.0	270.3	267.5	264.8	262.1	259.4
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
V. 環境に配慮した 工事を推進する	件	0件	工期遅れ、外部クレーム共に0件				

(2) 2023年度実績

年 度 項 目		2022年度	2023年度実績(2023/6/1～2024/5/31)			
		基準年度	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	137,999	136,619	136,422	100%	○
	対基準		△1%	98.9%		
電力使用量削減	kWh	38,393	38,009	37,386	102%	○
	kg-CO ₂	12,823	12,695	12,486.9		
	対基準		△1%	97.4%		
ガソリン 使用量削減	L	10,837	10,728	11,831	91%	×
	kg-CO ₂	25,141	24,890	27,447		
	対基準		△1%	109.2%		
軽油 使用量削減	L	38,773	38,385	37,399	103%	○
	kg-CO ₂	100,035	99,035	96,488		
	対基準		△1%	96.5%		
II. 廃棄物排出量 一般廃棄物 排出量の削減	kg	77.7	76.9	76.7	100%	○
	対基準		△1%	98.7%		
産業廃棄物 排出量の削減	t	11.3	11.2	21.8	51%	×
	(参考値)		△1%	193.3%		
III. 建設リサイクル率 の向上	%	41.6	42.0	35.8	85%	×
	対基準		+1%	86.1%		
IV. 水使用量の削減	m ³	273.0	270	237.5	114%	○
	対基準		△1%	87.0%		
V. 環境に配慮した 工事を推進する	件	工期遅 れ、クレ ーム共に0件	工期遅 れ、クレ ーム共に0件	工期遅 れ、クレ ーム共に0件	100%	○

注)評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(95～100%未満)、×:未達成(95%未満)

注) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2018年度関西電力調整後排出係数

0.334kg-CO₂/kWhを使用。

注)2023年度の建設リサイクル率＝再資源化量(7.82t)／総排出量(21.84t)

6. 環境活動の取り組み計画と評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と次年度の取り組み内容)
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
・下記の通り。	○	下記のとおり。今後も活動を継続する。
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	達成。健康に影響がでないよう、調整。今後も継続する。
・空調設備の無駄な運転を削減	○	達成。健康に影響がでないよう、調整。今後も継続する。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・不要なアイドリングストップ	△	意識をしてエコドライブに努める
・急加速・急停車の防止	△	意識しているが教育により意識徹底していく。
・効率的な移動	△	意識しているが教育により意識徹底していく。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をしてエコドライブに努める
・急加速・急停車の防止	○	達成。さらなる意識付けが必要。
・効率的な移動	○	しっかり忘れずに実行することが必要。
一般廃棄物排出量の削減 (目標達成)		
・無駄なコピー用紙使用削減	○	削減の意識が定着してきている。今後も継続する。
・書類の簡素化推進	○	紙の使用量について改善方法検討する。今後も継続する。
産業廃棄物排出量の削減 (目標未達成)		
・環境関連法規制等遵守	△	引き続き法規制遵守に努める。
・マニフェストの適正管理	○	マニフェストの管理表を作成。今後も継続する。
・3Rの徹底	○	適正管理できている。今後も継続する。
建設リサイクル率の推進 (目標未達成)		
・分別による最終処分量の削減	△	再資源化できる廃棄物が少なかった。 今後も活動を継続する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	活動の成果。今後も活動を継続する。
・清掃時・手洗い時の節水	○	節水に努める。
環境に配慮した工事を推進する (目標達成)		
・工期遅れをなくす	○	工期遅れ、外部クレーム共になし。
・外部クレームをなくす		

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	委託基準:産廃収集業者の許可の確認、契約	遵守
	マニフェスト交付、産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建設廃棄物の再資源化の促進	遵守
騒音規制法	特定建設作業届出、規制基準遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業届出、規制基準遵守	遵守
大気汚染防止法	石綿の事前調査等	遵守
消防法	消火設備の定期点検等	遵守
オフロード法	点検整備等	遵守
フロン排出抑制法	冷凍空調機器の簡易点検・定期点検、点検記録の保存 機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存 解体前の対象機器の点検、発注者への説明	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者への引き渡し	-
自動車NOx・PM法	対策地域内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

全従業員、環境に対する意識をもって各自が考えながら環境活動に取り組んでいます。環境コミュニケーションに取り組むことにより社内の雰囲気もよくなっています。

社用車の移動距離が増加し、ガソリン使用量が増えています。従業員にも環境活動に取り組むよう周知しており、今後改善できるように活動を継続します。

今後もエコアクション21を通して、社内のコミュニケーションを図りながら、取り組んでいきます。

項 目	変更要否	変更内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2024年8月20日
代表取締役 赤石 博之

【消火訓練・緊急対応訓練】

